

来週の「売り物記事」はこれ



2017年3月17日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

沖縄球児 甲子園の父

19日(日)



19日にセンバツが開幕する阪神甲子園球場。兵庫県尼崎市立尼崎高校の音楽教師、羽地(はねじ)靖隆さん(68)＝写真右＝は大応援団を派遣できない沖縄の出場校のために、吹奏楽部を率いて友情応援を続けてきました。1981年夏に始まり、これまでに応援したのは131試合にのぼります。自身も終戦間もない48年に沖



縄・伊良部島に生まれました。地上戦で多くの市民が犠牲になった本島と違い、島には牧歌的な時間が流れ、白砂の浜に押し寄せる波音や風にそよぐサトウキビの葉、伸びやかな鳥の鳴き声など、豊かな「音」が満ちあふれていたと言います。中学2年で尼崎市に移り、吹奏楽と出合いました。沖縄の球児からいつしか「甲子園の父」とも慕われるようになった羽地さんと野球、音楽、そして故郷を離れた「うちなーんちゅ(沖縄の人)」たちの物語です。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待下さい。

元日本代表・福田正博さん×なでしこ前監督・佐々木則夫さん

熱血対談「ハリルジャパンに望む」

夕刊特集ワイド 21日(火)



サッカーの2018年ワールドカップ・ロシア大会のアジア最終予選が、いよいよ佳境に入ります。23日(現地時間)には、アラブ首長国連邦(UAE)との「負けられない戦い」に挑みます。ハリルホジッチ監督は本田圭佑選手ら25人の代表メンバーを発表しましたが、果たして結果を出せるのか——。サッカー解説者で元日本代表の福田正博さんと、女子のなでしこジャパン前監督の佐々木則夫さんが「辛口」で語り合います。

健康狂想曲

くらしナビA面 23日(木)

仕事が多忙で不規則な食生活を強いられている女性たちにとって、各種ビタミンを配合したサプリメントは身近な存在。「手軽なので、つい摂取してしまう」と日常食のようになっている実態もあります。専門家は「通常の食事をしていれば、ビタミン欠乏症が起きることはまれ。むしろサプリメントの摂り過ぎで健康被害を招く恐れがある」と警鐘を鳴らします。



お弁当をつくろう

くらしナビA面 21日(火)



まもなく入学・進学の時季です。お弁当づくりが日課に加わる人は、心づもりをしておきたいもの。できるだけ悩まず、毎日の作業が手早くこなせる基本テクニックを、弁当コンサルタントの野上優佳子さんに伝授してもらいました。「ご飯におかずの汁気が移っても、味つきご飯になったと思えばいいのよ」。肩の力を抜くことで、手料理の良さを再発見できそうです。

女の気持ちをたずねて おんなのしんぶん 20日(月)

投稿欄「女の気持ち」に掲載された方を記者が訪ねる人気コーナー。今回は和歌山市の68歳女性が登場します。野菜作りに精を出していた母親が昨年、92歳で亡くなりました。畑を放棄できず、母親が最後に作った空豆をまくと、たくさんの実をつけました。野菜作りは命の強さと不思議さを教えてくれ、母親が野菜に注いだ愛情の意味が見えた気がしたそうです。



地域医療の再構築へ新制度

医療・福祉面 22日(水)



団塊の世代が75歳以上となる2025年に向け、地域の医療機関の再構築が迫られています。そうした中、複数の医療機関などが連携し、業務の効率化や役割分担の見直しを目指す「地域医療連携推進法人」制度が4月から始まります。病院や介護施設などが法人を設立し、薬を共同購入したり、施設間での医師の交流などが想定されています。準備を進めている山形県庄内地区と岡山市の例を紹介し、メリットや課題について解説します。

飲食店内喫煙の<規制強化>に黄信号

全面禁煙、それとも分煙か？

オピニオン面 【論点】 24日(金)

屋内でのたばこの受動喫煙対策をめぐる議論が国会などで盛り上がっています。2020年の東京五輪・パラリンピックに向けた規制強化の必要性ではほぼ一致しているものの、規制対象となる飲食店の範囲などをめぐって議論百出。たばこ生産者の支援を受ける慎重派議員のあいだからは全面禁煙ではなく、分煙にすべきとの意見も出されます。有識者らに聞きました。



時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。